

CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)由比ガ浜こどもセンター	階数	3
建設地	鎌倉市由比ガ浜三丁目194番1, 262番1	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、近隣商業地域	平均居住人員	120人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年7月 予定	評価の実施日	2015年10月8日
敷地面積	3,661 m ²	作成者	株式会社 桂設計
建築面積	1,252 m ²	確認日	
延床面積	2,797 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 3.1

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合 認可保育所、子育て支援センター、障害児放課後余暇施設の3つの複合施設として、共用ホールを計画。建築面積・延床面積が過大とならない合理的な計画とするとともに、工期の短縮、及び環境負荷低減に配慮。保護者及び児童を支援するべく施設として利便性に配慮した計画とする。		その他 0
Q1 室内環境 外皮に断熱材を施工、複層ガラスを使用して外界からの熱的負荷を抑制する。室内の空気質を健全に保ち、居住者が快適に過ごすことができるよう配慮する。十分に採光が得られる計画とする。全館禁煙とし、喫煙所は建物内部に設置しない計画とする。	Q2 サービス性能 地震時の安全性に配慮した耐震性を確保する。更新間隔の優れたダクトや配管材を用い、建物の長寿命化を図る。	Q3 室外環境 (敷地内) 中高木等の植栽により、緑ある優しい景観を演出する。尚、既存木々をなるべく残し、植栽する木々には一部食餌木を植栽することで生物環境の保全を図る。舗装面積を抑制し、暑熱環境緩和を図る。
LR1 エネルギー 効率の優れた機器 (LED照明) によるエネルギー量の削減	LR2 資源・マテリアル 水栓及び便器は自動水栓などに加えて節水型便器を使用し、水資源の保護を図る。断熱材はノンフロン仕様とし、温暖化抑制を図る。	LR3 敷地外環境 運用時のCO ₂ 排出量の抑制。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される